

各機関からの提案議題

- ①建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて
- ②就職活動中の学生等を対象としたホームページコンテンツの作成について
- ③入口戦略(建設系大学や高専への入学者数)の充実

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

提案議題①

事務所名：新潟県部会

件名

建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて

要旨

各機関・団体において現場見学会、インターンシップ等、建設界の役割や、仕事の魅力について、学生等に伝わるよう取り組んでいるところであるが、学生、生徒、児童、一般など、活動の対象毎に工夫すべき点など、異なるものとする。

新潟県部会において議論したなかでは、「大学生の意見として、土木を一種の科学技術として捉えると、魅力的に感じると聞いている」、「修学旅行で職場体験や大学を含めた研究機関を見学させたい」など、様々な意見を聞いている。

各教育機関において、各機関・団体の活動に対し、より効果的に建設界の魅力や役割を学生等に伝えるために求める点等あればお教え頂きたい。

また、今年度の活動において、多くの活動で各機関・団体で連携して行われているが、連携する上での問題点や、より連携して行うべき活動があればご意見頂きたい。

提案議題②

事務所名：新潟県部会

件名

就職活動中の学生等を対象としたホームページコンテンツの作成について

要旨

現在、担い手協議会ホームページは、協議会の活動や、各機関・団体が実施した取り組みを集約・紹介・共有し、実施側の活動の幅を広げることを目的に作成しており、建設界への入職を目指す学生等、受け手側が求める情報が乏しい状況にある。

このため、建設界の魅力の発信や、建設業の仕事を紹介したコンテンツなど、受け手側が求める情報の拡充を随時進めて行きたいと考えている。

第一ステップとして、建設界への入職も視野に入れている学生等が、就職先を検討する際の参考となる情報として、「建設界の様々な仕事の内容」を紹介するコンテンツを設けたいと考えている。

コンテンツの作成にあたり、仕事内容の概要の他、どのような情報を盛り込むべきかご意見をお聞かせください。

また、「建設業の様々な仕事の内容」を紹介するコンテンツの他に 就職活動中の学生等が求めるコンテンツとして何を設けていくべきか ご意見をお聞かせください。

就職活動中の学生等を対象としたホームページコンテンツの作成について

【第一弾】

建設界への入職も視野に入れている学生等が、就職先を検討する際に一読したいと思う情報を掲載し、受け手側と建設界を繋ぐ情報の窓口を目指す。

・大学
建設系学科
建設系以外の学科
・工業高等専門学校
・高校
建設系学科
建設系以外の学科 など

受け手側が求める情報を一元的に発信

道路、橋、ダムなどの構造物は、建設界の多くの職種が力を合わせて、出来上がっていることを理解してもらう。その上で、それぞれの職種がどのような仕事なのか知ってもらう。

・スーパーゼネコン
・ゼネコン
・コンサルタンツ
・測量設計
・地質調査
・専門工事
型枠工、とび工、鉄筋工 など
・市長村
・県
・国

職種毎に仕事の概要を記載

【第二弾】

建設界の魅力や、仕事を紹介するイベントの開催情報などを集め、掲載するコンテンツを作成する。

【第三弾】

.....

※まずは、建設界への入職が近いところを対象を絞る。中学生、小学生向けのコンテンツの作成は、次のステップとする。

提案議題③

石川県部会

件名

入口戦略（建設系大学や高専への入学者数）の充実

要旨

・大学側要望（金沢工大学長意見）として、建設界担い手人材確保・育成に関しては、その多くは大学生、高校生を建設界へ就職させる、いわば、出口戦略に主眼をおいた取組みが多いようだ。一方で、入口（大学建設系・高校建設系入学）戦略が不可欠となる。現在、本学教員などが高校に出前講義などを行っているものの、入口（入学）を促す（インセンティブな）効果的なメニューが実施できていない現状にある。高校と大学、さらには建設界が一体となって人材確保・育成に向けた取組みメニューをぜひ考えたい。知恵や好例をお教え頂きたいのだが。

・建設界へ「きっかけ」→「興味」→「本気」へと到達する各種効果的な取組みメニューを整理し、具体策を考えて行かなければならない。例えば、大学や高専への入口戦略として卒業研究発表に高校生や中学生が参加することは可能か。建設系の大学生や高専生が具体的にどんなことをやっているのか、どんなすばらしいことをやっていることを積極的に発信できないか。